

エナメル質形成不全

身体で一番硬い部分のハズなのに?!

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



エナメル質形成不全エナメル質形成不全とは、歯の表面のエナメル質（身体で一番硬い部分）が、完全に硬くならず、デコボコしたり、茶色や黄色、白く濁った状態のことです。



この状態は、健全な歯と比べて、質が弱くて柔らかいため、ムシ歯になりやすく、（ムシ歯の）進行も早くなります。原因の特定は難しいのですが、乳歯や一部の永久歯は、お母さんのお腹の中にいる時から作られていることから考えると、その過程（妊娠中）でのお母さんの体調や栄養状態やホルモン異常、または（お母さんの）子供時代のケガなどから、何らかの影響を受けていて、そういったことが要因になっているのではないかとされています。

エナメル質形成不全に対して、ご家庭でできる予防対策としては、歯を磨く時に、

- 仕上げ磨きをする。
 - フロスなどの補助具を使う。
 - 市販の低濃度フッ素のハミガキ粉や仕上げジェルなどを使う。
- といったことがあります。

また、歯科医院での処置としては、

- 軽度の場合は、定期検診および定期的な高濃度フッ素を塗布する。
- ムシ歯になってしまったり、重度な状態の場合は、ムシ歯治療や神経治療を行う。
- 広範囲な場合や急速な進行が認められる場合には、環境の整った医療機関で専門的な治療を行う。

などがあります。

いずれにしても、「エナメル質形成不全なのでは？」と思ったら、日頃のケアの仕方、定期的な検診、予防処置などを、早めにご相談ください。

